

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 14 日 (2021.10.14)

【公開番号】特開 2020-21355 (P2020-21355A)

【公開日】令和 2 年 2 月 6 日 (2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報 2020-005

【出願番号】特願 2018-145826 (P2018-145826)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 20/02 (2012.01)

G 0 6 Q 20/40 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 20/02 3 0 0

G 0 6 Q 20/40 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 3 日 (2021.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発行者から特定の受取人に向けて端末装置を介して送信され、前記受取人の金銭の支払い先を前記発行者とする請求書データをネットワークを通じて受信すると、受信した前記請求書データを、前記発行者の識別情報と前記受取人の識別情報とを関連づけて記憶する記憶部と、

前記請求書データの受信後に、前記受取人以外の第三者支払機関からの金銭の支払い指示を前記端末装置を介して前記発行者から受け付けると、前記第三者支払機関が前記受取人の情報に基づき算出した支払金額を前記端末装置を介して前記発行者に提示し、前記発行者が前記第三者支払機関から前記支払金額の支払いを受けると、前記請求書データに設定されている前記受取人の金銭の支払い先を前記発行者から前記第三者支払機関に設定する制御部と、

を有し、

前記制御部は、前記第三者支払機関から支払いを受けた前記請求書データを表示部に表示するときに、前記第三者支払機関から支払いを受けたことを示す識別情報を表示し、前記識別情報が選択されると、前記制御部は、前記第三者支払機関から支払いを受けた金額を表示することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記請求書データの概要を示す概要表示部に、前記識別情報を表示する請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記支払金額は、前記受取人の信頼度に基づき算出される請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

コンピュータが、

発行者から特定の受取人に向けて端末装置を介して送信され、前記受取人の金銭の支払い先を前記発行者とする請求書データをネットワークを通じて受信すると、受信した前記請求書データを、前記発行者の識別情報と前記受取人の識別情報とを関連づけて記憶する

記憶部を参照し、

前記請求書データの受信後に、前記受取人以外の第三者支払機関からの金銭の支払い指示を前記端末装置を介して前記発行者から受け付けると、前記第三者支払機関が前記受取人の情報に基づき算出した支払金額を前記端末装置を介して前記発行者に提示し、前記発行者が前記第三者支払機関から前記支払金額の支払いを受けると、前記請求書データに設定されている前記受取人の金銭の支払い先を前記発行者から前記第三者支払機関に設定し

、  
前記第三者支払機関から支払いを受けた前記請求書データを表示部に表示するときに、前記第三者支払機関から支払いを受けたことを示す識別情報を表示し、前記識別情報が選択されると、前記第三者支払機関から支払いを受けた金額を表示する、

ことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 5】

コンピュータに、

発行者から特定の受取人に向けて端末装置を介して送信され、前記受取人の金銭の支払い先を前記発行者とする請求書データをネットワークを通じて受信すると、受信した前記請求書データを、前記発行者の識別情報と前記受取人の識別情報とを関連づけて記憶する記憶部を参照し、

前記請求書データの受信後に、前記受取人以外の第三者支払機関からの金銭の支払い指示を前記端末装置を介して前記発行者から受け付けると、前記第三者支払機関が前記受取人の情報に基づき算出した支払金額を前記端末装置を介して前記発行者に提示し、前記発行者が前記第三者支払機関から前記支払金額の支払いを受けると、前記請求書データに設定されている前記受取人の金銭の支払い先を前記発行者から前記第三者支払機関に設定し

、  
前記第三者支払機関から支払いを受けた前記請求書データを表示部に表示するときに、前記第三者支払機関から支払いを受けたことを示す識別情報を表示し、前記識別情報が選択されると、前記第三者支払機関から支払いを受けた金額を表示する、

処理を実行させることを特徴とするプログラム。